

小学校 高学年 家庭科	計画的な貯蓄とお金のトラブルへの対処 (2025. 9)
----------------	---------------------------------

1. 本時の位置付け

本時は、小学校学校学習指導要領(平成 29 年告示)及び同解説【家庭編】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	③お金をためてみよう 第 5 学年及び第 6 学年 家庭科 C(1)ア (ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。 <解説> ・こづかいなど児童に取扱いが任された金銭に着目して購入の時期や金額を考えたり、購入のための貯蓄をしたりして、無駄のない使い方をすることが必要であることを理解できるようにする。
展開②	④身の回りの危険に気をつけよう ⑤お金のトラブルに気をつけよう 第 5 学年及び第 6 学年 家庭科 C(1)ア (ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。 <解説> ・買物で困ったことが起きた場合には、家族や先生などの大人に相談することや、保護者と共に消費生活センターなどの相談機関を利用すること。 (イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。 <解説> ・目的に合った品質のよい物を無駄なく購入するために、店の人から話を聞いたり、広告などを活用したりして情報を集め、値段や分量、品質など様々な視点から情報を整理することができるようにする。

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類 2 生活設計」、「分類 3 金融取引の基本としての素養」、「分類 5 保険商品」、「分類 6 ローン・クレジット」、「分類 7 資産形成商品」、「分類 8 外部の知見の適切な活用」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ 自分がやってみたいことの多くはお金がかかることに気づき、計画的に貯蓄をすることの大切さを理解する。
- ・ 生活の中には様々なリスクやお金に関わるトラブルがあることに気づき、リスクやトラブルに備える必要があることを理解する。

3. 評価のポイント

- ・ 自分がやってみたいことの多くはお金がかかることに気づき、計画的に貯蓄をすることの大切さを理解している。
- ・ 生活の中には様々なリスクやお金に関わるトラブルがあることに気づき、リスクやトラブルに備える必要があることを理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の＃は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は児童の活動)	指導上の留意点
導入 5分	○前時の学習を振り返る	●前の時間に学習したことを近くの人と交流しましょう。 ○前時のプリントを見ながら、学習したことを交流する。 ●本時の学習は、お金をためること、お金に関わる危険やトラブルについて学習することを説明する。 めあて: お金との上手な付き合い方を考えよう。	・前時の学習を振り返り、定着状況を確認する。
展開① 15分	③お金をためてみよう	(問) 将来、やってみたいことはありますか? (#24) ○将来やってみたいことを考え、発表する。 ●やってみたいことの多くは、お金がかかること、夢を叶えるためにはお金をためることが大切だということを説明する。また、お金を計画的にためることで、買えなかったものが買えるようになることも説明する。(#25～26) ○お金をためることのよさやお金をためてやってみたいことをワークシートにまとめる。 ●クイズの説明をして、何番が正解かを問う。(#27) ○お金のたまりやすさについて考え、正解だと思う番号に手を挙げる。 ●答えを発表し、ルールを決めるとお金のたまりやすくなることを説明する。(#28) (問) お金をためるためには、どんな方法がありますか? (#29) ○お金をためる方法を考え、ワークシートに記述する。 ●お金をためる方法の一つに銀行にお金を預ける方法があり、銀行の役割を説明する。(#30) ○銀行の役割について、ワークシートにまとめる。 ●クイズの説明をして、何番が正解かを問う。(#31) ○利息の計算をして、正解だと思う番号に手を挙げる。 ●答えを発表し、利息の計算方法を説明する。(#32) ○利息の計算方法を確認し、他の金額でも計算してみる。	・塾や習い事などを想起させ、夢を叶えるまでの過程でもお金がかかることを確認する。 ・自分がやってみたいことを達成するためには、どれくらいのお金が必要か調べてもよい。 ・#29～32は、発展的な学習内容であるため、概要のみの説明でもよい。 ・お金をためるためのマイルールを考えさせてもよい。 ・100 万円のとき、自分が今持っているお金など、自由に計算させてもよい。
展開② 15分	④身の回りの危険に気をつけよう ⑤お金のトラブルに気をつけよう		・#34～37は、発展的な学習内容であるため、概要のみの説明でもよい。 ・修学旅行や校外学習などの学校行事と繋げて、いくらでどのような保障のある保険に入っているのか簡単に説明してもよい。 ・国民生活センターに寄せられた相談事例を紹介してもよい。
まとめ 10分	○本時の学習をまとめる	●今日の授業で分かったことは何ですか? また、これからの生活で生かしたいことをワークシートにまとめましょう。(#45) ○分かったこと・思ったこと・考えたこと・気をつけたいことなどをワークシートにまとめ、発表する。	・本時の学習内容を自分の言葉でまとめる。その上で、今後の生活に取り入れられることを記述するように促す。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

計画的な貯蓄とお金のトラブルへの対処

年	組	番	名前

めあて：お金との上手な付き合い方を考えよう。

1. お金をためてみよう

① 将来やってみようことはありますか？

- ・ たくさん旅行に行きたい。
- ・ マンガをたくさん買いたい。
- ・ 好きなお菓子をたくさん買いたい。

やってみようこと多くは、**お金** がかかる → **貯蓄** が大切！

② お金をためるには？

おこづかいをもらったら、使う前に貯蓄をする

ルールを決めておくと、お金がいまよりやすくなる！

③ お金をためる方法

- ・ お家の人におおづける
- ・ 貯蓄箱に入れる
- ・ 銀行におおづける

<銀行の役割>

お金をあづかる仕事

お金をあづけてくれたお礼
銀行からおおづけた人へ

BANK

お金を必要な人にお金を貸す仕事

お金を貸してくれたお礼
お金を借りた人から銀行へ

④ 利息の計算をしてみよう

① 1 万円をおおづけるといくらになるかな？

1% = 0.01
 $10,000 \times 0.01 = 100$
 $10,000 + 100 = 10,100$ 1 万 100 円

② 自分が持っているお金をあづけるといくらになるかな？

(例えば、5,500 円持っているとした場合)
 1% = 0.01
 $5,500 \times 0.01 = 55$
 $5,500 + 55 = 5,555$ 5,555 円

お金をためるマイルール おこづかひの半分は貯蓄をして、おこづかひ・額をつけて計画的に使う。

2. 身の回りの危険に気をつけよう

<生活の中のリスクを理解しよう>

- ・ 商売になるかもしれない。
- ・ 盗んでいて、けがをするかもしれない。
- ・ 自然災害により家が壊れるかもしれない。

保険 → リスクに備える方法の一つ。
 みんなから少しずつお金を集めて、事故や病気があった時にお金を受け取れる仕組み。

3. お金のトラブルに気をつけよう

① お金の貸し借り → 絶対に人にお金を **貸さない**。

② ワンゲリック詐欺 → 突然高額のお金を求められることがある。覚えがない時は、**お家の人に相談**。

③ オンラインゲーム → お家の人のカードやカードは勝手に使っちゃいけない。

必ずお家の人に相談してから購入する。

お金や商品について困ったとき → 消費生活センター、消費者ホットライン	188 いやや
警察に相談したい時 → 警察相談専用電話	#9110

4. まとめ

今日の授業で大切なことと分かったこと、これからの生活で生かしたいことをまとめよう。

(省略)

6. 参考資料

- ・ 国民生活センター相談事例等
オンラインゲーム

https://www.kokusen.go.jp/t_box/t_box-faq/c-3.html

若者の消費者トラブル

https://www.kokusen.go.jp/soudan_now/data/wakamono.html

「未成年者の消費者トラブルについての現況調査」調査報告書

https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20250305_1_2.pdf

計画的な貯蓄とお金のトラブルへの対処

年 組 番

名前

めあて:

1. お金をためてみよう

(1) 将来やってみたいことはありますか？

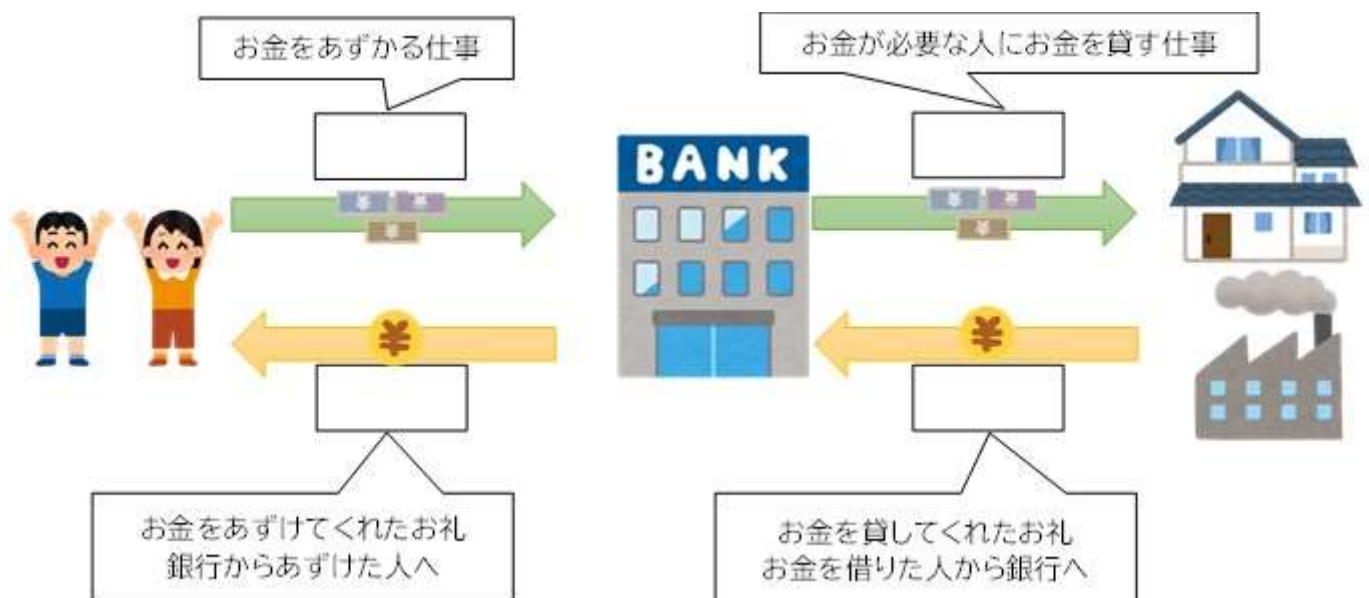
やってみたいことの多くは、_____ がかかる →

(2) お金をためるには？

ルールを決めておくと、お金がたまりやすくなる！

(3) お金をためる方法

<銀行の役割>



(4)利息の計算をしてみよう

①1万円をあずけるといくらになるかな？

--

②自分が持っているお金をあずけるといくらになるかな？

--

お金をためるマイルール

2. 身の回りの危険に気をつけよう

<生活の中のリスクを理解しよう>

--

--

→ リスクに備える方法の一つ。

みんなから少しずつお金を集めて、事故や病気にあった時にお金を受け取れる仕組み。

3. お金のトラブルに気をつけよう

①お金の貸し借り → 絶対に人にお金を_____。

②ワンクリック詐欺 → 突然高額の支払いを求められることがある。見覚えがない時は、_____。

③オンラインゲーム → お家の人のお金やカードは勝手に使ってはいけない。

_____購入する。

お金や商品について困ったとき → 消費生活センター、消費者ホットライン	
警察に相談したい時 → 警察相談専用電話	

4. まとめ

今日の授業で大切だと思ったことや分かったこと、これからの生活で生かしたいことをまとめよう。

--